

## 訓練支援計画書（シラバス）

科名：電子情報技術科

授業科目の区分		授業科目名		必修・選択	開講時期	単位	時間／週
訓練課程	専門課程	情報通信工学		必修	4期	2	4
教科の区分	系基礎学科						
教科の科目	情報通信工学						
担当教員	曜日・時限	教室・実習場		備考			
授業科目に対応する業界・仕事・技術							

コンピュータ業界におけるネットワーク分野の基礎となる技術

授業科目の訓練目標		
授業科目の目標	No	授業科目のポイント
コンピュータの基礎知識やデータ通信の原理など、さまざまな通信方式や伝送技術の理解を深め、インターネットやモバイル通信などについての知識を習得する。	①	コンピュータの構成について知っている。
	②	各種インターフェースとアーキテクチャについて知っている。
	③	情報表現と符号化について知っている。
	④	データ通信と伝送技術について知っている。
	⑤	光波伝送技術について知っている。
	⑥	光ファイバの種類、特性及び接続技術について知っている。
	⑦	Ethernetの概要と構成機器について知っている。
	⑧	ネットワークの評価、運用及び信頼性について知っている。
	⑨	無線通信の基礎について知っている。
	⑩	無線通信の種類と特性について知っている。

授業科目受講に向けた助言	
予備知識、技能・技術	基数変換ができるようにしておいてください。 「物理」における波の性質についても理解しておいてください。
受講に向けた助言	コンピュータネットワーク技術およびその背景にあるデータ通信技術に関して習得します。コンピュータの進化に伴い、通信技術も日々進歩しています。データ通信の基礎的技術について知っておくことは、データ通信の最新技術の理解にも繋がります。
教科書および参考書	教科書：自作テキスト
授業科目の発展性	<pre> graph LR     A[情報通信工学] --- B[ネットワーク技術]     B --- C[組込みソフトウェア応用実験]     A --- C     D[情報工学通信実習] --- B   </pre>

評価の割合（例）								
指標・評価割合	評価方法	試験	小テスト	レポート	制作物	成果発表	その他	合計
評価割合	授業内容の理解度	60	20	0	0	0	20	100
	技能・技術の習得度	30	10					
	コミュニケーション能力							
	プレゼンテーション能力							
	論理的な思考力・推論能力	10						
	取り組む姿勢・意欲						10	
	主体性・協調性						10	

週	授業の内容	授業方法	訓練課題 予習・復習
1週	ガイダンス 1. コンピュータシステム基礎 (1) コンピュータの構成 (2) 各種インターフェースとアーキテクチャ (3) その他周辺装置	講義	コンピュータの構成および各種インターフェース、アーキテクチャ、周辺回路について復習をしてください。
2週	2. データ通信技術 (1) 情報表現と符号化 (2) 伝送技術 (3) データ通信ネットワーク技術	講義	情報の表現と符号化およびデータ伝送技術、データ通信とネットワーク技術について復習をしてください。
3週	(4) トラフィック理論 3. 光通信技術 (1) 光波伝搬技術 (2) 光ファイバの種類と特性	講義	データ通信のトラフィック理論と、光ファイバ技術の概要について復習をしてください。
4週	(3) 光ファイバの接続技術 4. LAN技術 (1) Ethernet	講義	光ファイバの接続技術と、Ethernet技術の概要について復習をしてください。
5週	(2) 構成機器 (3) ネットワークの評価とシミュレーション	講義	ネットワークの構成機器と、評価、シミュレーションについて復習しておいてください。
6週	(4) ネットワークの運用、信頼性評価	講義	ネットワークの運用、信頼性について復習しておいてください。
7週	5. 無線通信技術 (1) 無線通信の基礎 (2) 電磁波の種類や用途、電波伝搬	講義	無線通信の基礎、電磁波の種類や用途、電波伝搬について復習しておいてください。
8週	(3) 無線LANの技術 (4) 小規模通信機器(Bluetooth®, NFC)	講義	近距離無線通信等について復習しておいてください。
9週	(5) 移動体通信 (6) 多元アクセス方式 評価	講義 評価	移動体通信と多元アクセス方式について復習しておいてください。